

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	子宮頸癌 Pembrolizumab+TC (PTX+CBDCA) 療法		臨床区分	抗癌剤適応分類	登録日	2022年11月2日
疾患名	子宮頸癌		<input checked="" type="checkbox"/> 日常診療	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発化学療法		※2023/6/29 改変
診療科名	婦人科		<input type="checkbox"/> 単施設自主研究	<input type="checkbox"/> 術後化学療法	1クール期間	21日
登録医師名	山本 暖		<input type="checkbox"/> 他施設自主研究	<input type="checkbox"/> 術前化学療法	実施回数	6/回
適応	化学療法未治療の手術又は放射線療法による根治治療の対象とならない進行・再発の子宮頸癌		<input type="checkbox"/> 市販後臨床研究	<input type="checkbox"/> 局所療法		
			<input type="checkbox"/> 治験	<input type="checkbox"/> その他		

Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日										注意コメント
							day1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1	アプレビタントカプセル125mg	1	Cap	経口			●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	抗がん剤開始1時間～1時間30分前に内服 day2～3のアプレビタントは別途処方
2	生理食塩液	250	mL	点滴静注	メイン		●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	血管確保用（フィルター付ルートを使用すること） ※開始から終了までECGモニターを
3	生理食塩液	100	mL	点滴静注	側管	30min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	最終濃度：1～10mg/mL以上 オンラインフィルターを使用すること。 キイトルーダ投与前後生食でフラッシュ
4	生理食塩液	50	mL	点滴静注	側管		●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	キイトルーダ後ルート洗浄用
5	レスタミンコーウ錠 10mg	5	錠	経口			●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	パクリタキセル投与開始30分前に内服
6	生理食塩液	100	mL	点滴静注	側管	30min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	レスタミンと同時投与（レスタミン内服不可患者には医師に確認） 投与終了後、パクリタキセル開始まで30分以上あける
7	テキサート注射液 6.6mg パロノゼトロン静注用0.75mg ファモチジン注射液 20mg	3 1 1	瓶 管 管														
7	生理食塩液	50	mL	点滴静注	側管	30min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	パクリタキセル投与までの待機用
7	パクリタキセル注	175	mg/m2	点滴静注	側管	180min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	インラインフィルターを使用すること。
8	生理食塩液 カルボプラチン点滴静注液	250 5	mL AUC	点滴静注	側管	60min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	最大投与量：800mgまで

備考欄

※6コース終了後はPembrolizumab維持療法へ移行する
※キイトルーダとパクリタキセルはフィルターを使用する。状況によりアプレビタントの併用を考慮すること。
※放射線増感剤としての化学療法歴は化学療法未治療として扱う
※アバスチンが必要な症例はアバスチン入りのレジメンを選択すること

減量・中止基準

各薬剤の添付文書・適正使用ガイド参照

文献

Pembrolizumab for Persistent, Recurrent, or Metastatic Cervical Cancer, N Engl J Med 2021; 385: 1856-67、KEYNOTE-826試験